

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1	1/4	滋賀	水道工事	LPガス(簡易)	0	水道工事業者がカッターによりコンクリートを切断した際、誤って灯外内管を切断し、ガス漏えいが発生した。ガス漏えい防止のため、バルブ閉止及びガス工作物からのガス供給停止を実施したため、115戸の供給支障事故が発生した。 原因は、水道工事業者がカッターによりコンクリートを切断した際に、付近にガス管は無いと誤認したため、灯外内管を切断し、ガス漏えい事故が発生したものの。
2	1/8	大阪	改装工事	LPガス	0	一般住宅において、改装工事業者から埋設管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が宅内バルブとメーターガス栓の閉止を指示した後、現場に出動し、埋設配管が損傷していることを確認した。 原因は、改装工事業者が排水工事の際に、埋設管の位置を確認しないまま作業を行い、掘削機で埋設配管を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。
3	1/8	大阪	建築工事	LPガス	0	一般住宅において、建築工事業者から作業中に埋設管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、埋設供給管(プラスチック被覆鋼管)の継手部の損傷を確認した。 原因は、建築工事業者が基礎工事の際に、埋設管の位置を確認しないまま作業を行い、掘削機により埋設供給管を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。
4	1/9	兵庫	解体工事	都市ガス	0	消防より「家庭解体中に、ガス管を破損」との通報を受け、出動したところ、灯内内管の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が、家庭解体工事中に解体用つかみ機にて、隣接で使用中の灯内内管を破損したものの。
5	1/10	長崎	水道工事	LPガス	0	集団供給の個別の一般住宅(新築物件)において、仮設水道工事を行っていた水道工事業者が、掘削作業中に水道管に近接していた埋設供給管(ポリエチレン管)を工具(スコップ)で破損したことによるもの。 なお、販売事業者は当該物件の建設工事業者と事前協議を行っており、また、ポリエチレン管が埋設されている旨の標示杭を設置していたが、水道工事業者への周知が不足していたものと推定される。
6	1/14	東京	解体工事	都市ガス	2	解体工事業者から「建物解体作業中にガス管を損傷した」との通報を受け、受付中に爆発火災事故が発生した。 ガス事業者が出動したところ、建物2階で爆発が発生し、当該建物の1階・2階の損壊及び建物の一部焼損を確認した。また、当該建物の住民2名が負傷のため病院に搬送されたことを確認した。 原因は、解体工事業者が、解体工事範囲にあるガス管が通じていないと思い、ガス事業者へ連絡することなく作業した結果、電動工具にて灯外内管を損傷したものの。その際、損傷したガス管から漏えいしたガスが、当該建物内に滞留し、建物2階に設置してあるガスこんろの点火により引火、爆発に至ったものと推定される。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
7	1/24	千葉	解体工事	都市ガス	0	売渡先から「解体中の工事現場よりガス臭がする」との通報を受け、出動したところ、供給管の接続部が損傷していることを確認した。 原因は、解体工事業者が整地作業の際に、敷地内に埋設されていたガス管を重機にて引っ掛け、損傷したものの。 なお、解体工事業者によると、ガス管表示板の位置を予め確認できていたことから、当該敷地内の整地作業範囲内にはガスの通じているガス管はないものと思われ、作業したところ、重機にてガス管を損傷したとのこと。
8	1/26	鹿児島	基礎工事	LPガス	0	飲食店において、基礎工事業者から供給管が損傷しガスが漏えいしているとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、設備の損傷とガスの漏えいを確認した。 原因は、基礎工事業者が客務設置場所の掘削を土留工事をせずに掘削していたところ、客務設置場所の基礎が崩落し、容器が落下したことで、調整器の高圧ホース接続部が損傷したことによるもの。 なお、基礎工事業者からの事前連絡は行われていなかったとのこと。
9	1/28	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家庭解体工事中に、ガス管を破損」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の継手部が破損によるガス漏えいを確認した。 原因は、解体工事業者が灯外内管を掘削機(バックホウ)にて破損し、継手が抜け、ガス漏えいが発生したものと推定される。
10	1/28	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物の解体工事中にガス管を損傷させた」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。 原因は、解体工事業者が建物の解体作業中に、当該敷地内に埋設されていたガス管を重機にて損傷したものの。 なお、解体工事業者によると、事前に連絡することなく解体作業を行った結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
11	1/29	東京	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「銅矢板の打ち込み作業中にガス臭が発生した」との通報を受け、出動したところ、供給管が損傷し、ガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、水道工事業者が、掘削にてガス管の位置を確認していたにもかかわらず、掘削機にてマーキングを復元せず、かつ掘削の確認を怠ったためガス管が無いと思込み、当社に連絡しないまま打ち込み作業を行い、ガス管を損傷したものの。
12	1/29	東京	リフォーム工事	都市ガス	0	リフォーム工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。なお、安全確保のため引込管ガス遮断装置を閉止した結果、当該建物の需要家30戸への供給支障が発生した。 原因は、リフォーム工事業者が当該建物地下3階において、排水管の敷設作業に伴うコンクリート研り作業中に、配管されていたガス管を電動工具にて損傷したものの。 また、リフォーム工事業者によると、ガス事業者へ事前に連絡することなく、排水管の敷設作業に伴うコンクリート研り作業を行った結果、電動工具にてガス管を損傷したとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
13	2/1	香川	電気工事	LPガス	0	一般住宅において、造成団地内の電柱入れ替え工事に伴う掘削作業時に、漏れが発生した。 原因は、掘削作業中、重機により埋設された供給管に接触し損傷させたことによるもの。 なお、工事業者は工事前に販売事業者との協議がなかったことにより、現場作業者が埋設管の確認を行っていなかったとのこと。
14	2/1	神奈川県	下水工事	都市ガス	0	他工事巡回員から「下水工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、下水工事により損傷された供給管に水道水が流入し、供給支障が発生した。 原因は、下水工事業者がクッターにて作業したところ、供給管および給水管がカルバート上部に深く埋設されていたため損傷し、給水管から噴出した水道水がガス管に流入し、支管を踏断したため、供給支障となったもの。
15	2/1	東京	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者から「ガス管を損傷させた」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。 原因は、道路工事業者が道路改良作業中に当該敷地内に埋設されていたガス管をエンジンクッターにて損傷したものである。 なお、道路工事業者によると、当該建物がLPガス供給の店舗であったことから、当該敷地内にガスの通じているガス管は埋設されていないと思われ、道路改良工事に伴う掘り付け舗装中にエンジンクッターにてガス管を損傷したとのこと。
16	2/4	沖縄	下水道工事	LPガス	0	共同住宅において、下水道工事に伴う掘削時に漏れが発生した。 原因は、下水道配管工事中、重機が埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、下水道工事業者からの事前連絡は行われていなかったとのこと。
17	2/5	埼玉	改修工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者より自宅の改修工事中に改修工事業者がLPガス配管を損傷させた旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出勤し確認したところ、ガスメーターに圧力低下遮断(BCP)が表示されていること、また床下配管が損傷していることを確認した。 原因は、改修工事業者が作業中に誤って床下配管を切断したことによるもの。 なお、消費者及び改修工事業者から販売事業者に工事前の事前連絡がなかったとのこと。
18	2/6	千葉	水道工事	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者が水道管を切断しようとした際、誤って配管を切断し、ガスが漏れ出した。 原因は、水道工事業者が配管の確認をせずに切断し損傷させたもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
19	2/7	東京	建物改修・改築工事	都市ガス	0	協力企業から「建物の改修工事を行った設備工事業者より、ガス管を損傷させた」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。なお、安全確保のため引込管ガス遮断装置を閉止した結果、当該建物の需要家33戸への供給支障が発生した。 原因は、設備工事業者が給水管の改修工事に伴う建物1階パイプシャフト内コンクリートの新り作業中に、コンクリート下に配管されていたガス管を電動工具にて損傷したものである。 なお、設備工事業者によると、給水管の改修工事に伴うコンクリート新り作業の範囲内に、ガス管が配管されているとは思わなかったため、当社にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したとのこと。
20	2/9	埼玉	建物改修・改築工事	都市ガス	0	設備工事業者から「建物の改修工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。 原因は、設備工事業者が給水管工事に伴う建物1階パイプシャフト内のコンクリートコア抜き作業中に、コンクリート下に配管されていたガス管を電動工具にて損傷したものである。 なお、設備工事業者によると、給水管の更新工事に伴う建物1階パイプシャフト内のコンクリートコア抜き作業範囲内に、ガス管が配管されているとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したとのこと。
21	2/18	神奈川県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物解体作業中に火が付いた」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管を損傷し、漏れ出したガスに着火したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、建物解体に伴う配管切断作業範囲にある管はガスの配管でないと思い、ガス事業者にガスの通じているガス管があるかの確認を行うことなくバーナーにて配管切断作業を行った結果、ガス管を損傷した。その際、漏れ出したガスに配管切断作業に用いたバーナーの炎が着火し、ガス管固定金具を焼損したものの。
22	2/19	京都	解体工事	都市ガス	0	消防から「家庭解体工事中に、ガス臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、家庭解体工事中に、解体用つまみ機にて灯外内管を破損したものの。
23	2/21	大阪	樹木補樹・伐採工事	都市ガス	0	造園工事業者から「掘削工事中、ガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、破損箇所付近よりガス臭気を確認した。 ガス事業者が安全確保のため、引込み管遮断バルブを閉止し、当該建物の需要家56戸の供給支障が発生した。調査の結果、灯外内管の管体破損を確認した。 原因は、敷地内の掘削工事に伴い掘削し、造園パール(造園工具)にて灯外内管の管体部を破損したものの。
24	2/22	佐賀	不明	LPガス	0	共同住宅において、工事業者より掘削工事中に埋設配管を損傷させ漏れに気づいた作業員が遮断バルブを閉止し販売事業者へ連絡をした。販売事業者は現場に出勤し配管の損傷を確認した。 原因は、工事業者が掘削工事中に埋設配管を誤って損傷させたことによるもの。 なお、工事業者による販売事業者への埋設管の事前照会がなかった。また、埋設確認シートにも気づかなかったとのこと。

No.	発生日	発着府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
25	2/23	神奈川	外構・門扉工事	都市ガス	0	建設工事業者から「外構工事作業中にガス管を損傷し火が付いた」との連絡を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷し、漏れ出したガスに着火したことを確認した。 原因は、建設工事業者が、外構工事作業範囲内に切断済みのガス管があることは確認していたが、ガスが通じていないと思い、ガス事業者にガスの通じているガス管があるかの確認を行う事なく、ガス管切断作業を行った結果、電動工具にて損傷した。その際、漏れ出したガスに配管切断作業に用いた電動工具の火花が着火源となり着火し、火災が発生したものの。
26	2/26	京都	解体工事	都市ガス	0	警察から「解体工事中、ガス管を破損。警察、消防出動中」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が家屋解体中、不使用の灯外内管(道路からの引き込み立上り露出部)をガスが通れていないガス管と思い込み、ディスクグラインダーにて切断したものの。
27	2/27	茨城	下水道工事	LPガス	0	一般住宅において、下水道工事業者から道路の掘削作業中に埋設供給管を損傷させた旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し埋設本管(供給管)からの漏れを確認した。 原因は、下水道工事業者が道路の掘削作業中に誤って埋設供給管を損傷させたことによるもの。 なお、下水道工事業者から販売事業者へ工事による立会の依頼がなかったとのこと。
28	3/1	大阪	その他(白蟻駆除)	都市ガス	0	白蟻駆除工事業者から「白蟻の駆除工事に伴う穴あけ工事中にガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、建物の白蟻駆除に伴う薬品注入の為に、敷地内を電動ハンマードリルでボーリング工事中に、灯外内管の管体を破損したものと推定される。
29	3/4	東京	建物建築工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ガス管を損傷した」との連絡を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、建設工事業者が、当該敷地内にガス管表示杭を確認していたが、道路上で撤去され、新築工事の山留作業に伴う掘削作業範囲内にガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重複にてガス管を損傷したものの。
30	3/12	埼玉	水道工事	LPガス	1	一般消費者からガスが使えない旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し確認したところ、現場付近の水道工事により埋設供給管(低圧部)が損傷し、漏れい火災が発生していることを確認した。 原因は、水道工事業者が重複で道路を掘削中、誤って供給管を損傷させたことによるもの。また、金属スコップの使用により生じた火花が引火し着火したものと推定される。

No.	発生日	発着府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
31	3/12	兵庫	外構・門扉工事	都市ガス	0	ガス事業者の社員から「新築工事現場にて外構工事中にガス管破損を発見」との連絡を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、戸建住宅の新築外構工事中に灯外内管(不使用管)を掘削機(バックホウ)にて破損したものの。
32	3/13	愛知	電気工事	都市ガス	0	電気工事業者が敷地内工事中に、灯外内管をコア抜き工事にて損傷し、ガスが噴出した。 ガス事業者が分岐バルブ50mmを閉止し、当該建物の需要家 34件が供給支障となったものの。
33	3/15	北海道	排雪工事	LPガス	0	事務所において、消費者からガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し確認したところ、屋外横引き配管の継手部より漏れいを確認した。 原因は、掘削工事業者が工事の際、設備付近に排雪したことで雪解けの衝撃により配管と継手のねじ部に亀裂が入ったことによるもの。 なお、掘削工事業者からの事前連絡は行われていなかったとのこと。
34	3/15	京都	水道改修工事	都市ガス	0	水道工事業者から「漏水修理工事の際、敷地内を掘削したところテッパーにて灯外内管を破損して着火」との連絡を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、漏水修理工事の際に敷地内を掘削したところ、テッパーにて灯外内管を破損したものの。
35	3/15	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガス管を損傷した」との連絡を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、当該建物がLPガス供給であったことからガスの通じたガス管はないと思い、建物解体工事に伴う掘削作業を行った結果、当該敷地内に埋設されていたガス管を重複にて損傷したものの。
36	3/16	兵庫	解体工事	都市ガス	0	消防から「マンション解体中、ガス管を破損して爆発し、煙が出ている」との連絡を受け、出勤したところ、噴出したガスに引火していることを確認した。ガス事業者により当該建物の引き込み管遮断バルブを閉止し、ガス漏えいを停止、応急措置を完了した。 原因は、消防によると、解体工事中に、電動ノコギリにて灯外内管を誤って破損し、噴出・蒸留したガスに電動ノコギリのスパークにより着火したものと推定される。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
37	3/19	大阪	解体工事	都市ガス	0	消防から「家庭解体工事中に、ガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が、家庭解体中に灯外内管を解体用つまみ棒にて破損したものと。
38	3/19	東京	解体工事	都市ガス	0	消防から「当該住所付近よりガス臭気」との通報を受け、出勤したところ、解体工事業者が灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者によると、当該建物にLPガス供給であり、LPガス配管も既に撤去されているものと認識していたことから、ガスの通じたガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を切断したとのこと。
39	3/23	大阪	築地・造成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「敷地内整地工事に伴う杭打ち掘削中に、ガス管を破損。敷地内で、2m程度ガス管を引き抜いた。ガスの臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管及び供給管の破損を確認した。 原因は、整地工事に伴う地盤改良工事（アースオーガーによる杭打ち作業）の際、整地工事業者がガス管位置を把握するため、当該敷地内の灯外内管を巻き込み、供給管を引き抜いたものと。
40	3/27	東京	下水工事	都市ガス	0	下水道工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、供給管ならびに灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、下水道工事業者によると、掘削作業の範囲内に、ガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、至機にてガス管を損傷したとのこと。
41	4/2	長野	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者がコンクリートカッターにより誤って埋設供給管を切断し漏えいが発生した。 原因は、作業に使用していたコンクリートカッターが埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、水道工事業者からの事前連絡は行われていなかったとのこと。 (バルク容器 500kg×1基)
42	4/2	福岡	建物改修・改築工事	都市ガス	0	マンションの改修工事において、他工事業者が当該敷地内コンクリート部分を掘削カッターにて切断作業中、埋設された灯外内管を破損した。 二次災害防止のため、ガス事業者にて当該マンションの引込管ガス管遮断装置を閉止したことにより、34戸の供給支障が発生した。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
43	4/3	鹿児島	水道工事	LPガス	0	その他店舗において、消費者からガス臭がするとの通報を受けた販売業者が現場へ緊急出勤したところ、埋設配管の半分以上が切断され、またガスメーターに合計増加流量オーバー遮断（O表示）がされていることを確認した。 原因は、水道工事業者が漏水修理のためグライダーにより水道管を切断した際、誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。 なお、消費者及び水道工事業者から販売業者に工事前の事前連絡がなかったとのこと。
44	4/5	長野	水道工事	都市ガス	0	複数需要家から「ガスが使えない」との通報を受け、出勤したところ、供給支障の発生を確認した。 原因は、水道工事の施工者がカッターにて掘削作業中、低圧支管に設置されている水取器立管が掘削に覆われたため、水取器立管が破損し、掘削作業に伴って発生した凍水が、低圧支管に流入し閉塞したため、供給支障となったもの。
45	4/8	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、解体工事業者が建物解体工事に伴う掘削作業中に灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、掘削作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、当該敷地内に埋設されて別建物に供給しているガス管を重機にて損傷したものと。
46	4/9	和歌山	管工事	LPガス	0	一般住宅の敷地内において、工事業者による浄化槽の入れ替え工事の際、コンクリートカッターにより誤って埋設供給管（25A）を損傷させ、漏えいが発生した。また、当該敷地は、約16年前に埋設管を用いた集団供給から容器による戸別供給へと切り替えたが敷地内の埋設供給管は撤去されていなかった。 原因は、作業に使用していたコンクリートカッターが埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、工事業者が事前連絡をしておらず、埋設配管の位置を把握していなかった。
47	4/9	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガス管を破損、ガスが噴出している」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が破損したことを確認した。 原因は、建物外壁取壊し中、外壁が崩れ、灯外内管（不燃管）を破損したものと。
48	4/10	山梨	下水改修工事	LPガス(簡易)	0	需要家から「敷地内下水道工事中にガス管を損傷してしまった」との通報を受け、出勤したところ、敷地内のコンクリートカッターにより灯外内管を損傷していた。なお、特定製造所付近での掘削で導管バルブがないため、保安確保のため、特定製造所のバルブを閉止し、84戸を供給停止した。 原因は、敷地内の下水道工事において、灯外内管の埋設位置等を確認せずコンクリートカッターによる施工を行ったため。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
49	4/13	栃木	外構工事	LPガス	0	一般住宅(集団供給)において、近隣の住民から解体工事より埋設供給管(ポリエチレン管25A)を損傷し、漏れしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、先に到着した消防により供給が停止していることを確認し、補修作業を行った。原因は、解体工事中、重機により埋設供給管を損傷させたことによるもの。なお、外構工事業者が埋設供給管の位置を把握していなかった。
50	4/15	東京	解体工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ロックオーガー工法にて削孔作業中にガス管を損傷した可能性がある」との通報を受け、出勤したところ、オーガーにて低圧本管が損傷していることを確認した。原因は、建設工事業者が、ガス事業者との事前協議は行ったが、地下躯体解体への変更及び地下躯体解体に伴うオーガー削孔を行う旨の連絡及び協議は行わなかった。当日もガス事業者への施工連絡をしないで、オーガー削孔を敷地内で行ったところ、誤って公道部を削孔し、低圧本管を損傷したものの。
51	4/16	長崎	下水道工事	LPガス	0	共同住宅において、下水道工事業者がコンクリートカッターにより誤って埋設供給管を切断し漏えいが発生した。原因は、作業に使用していたコンクリートカッターが埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。なお、下水道工事業者が事前連絡をしておらず、埋設配管があるとの認識がなかった。
52	4/16	北海道	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から「火災発生」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管からガスが漏えいし、電動工具の火花が着火源となり、火災が発生した。原因は、入居予定者が店舗内部改修作業において、間仕切り壁の撤去中に、漏出した灯外内管を電動工具を用いて切断撤去しようとした際に、ガス管を損傷し、漏えいしたガスに切断時の火花が着火源となり、火災に至ったもの。
53	4/18	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、敷地内不燃ガス管破損」との通報を受け、出勤したところ、供給管の破損を確認した。原因は、家庭解体後の整地工事中、供給管(不使用)をバックホーにて破損したもので、バックホーのオペレーターの位置確認ミスによるもの。
54	4/19	東京	水道工事	都市ガス	1	協力企業の作業員から「水道工事作業員が工事中にガス管を損傷し着火した」との通報を受け、出勤したところ、水道工事業者が工事中に灯外内管を損傷し、着火したこと及び水道工事作業員1名が重症(火傷)であることを確認した。原因は、水道工事業者の作業員は、ガス管であることは認識していたがガスが止まっていると思いつき、ガス事業者に照会を行うことなく切断しようとした結果、当該敷地内に埋設されていたガス管を電動工具にて損傷した。その際、電動工具から発生した火花が着火源となり、損傷したガス管から漏えいしたガスに着火したものと推定される。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
55	4/22	京都	水道工事	都市ガス	0	協力企業から「水道工事中ガス管破損、手当なし、臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、供給管の破損を確認した。原因は、水道工事中、掘削機(バックホウ)にて、供給管を破損したものと推定される。
56	4/23	神奈川	建物建築工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷し、漏えいしたガスに着火したことを確認した。原因は、ガス事業者は、建設工事業者より、基礎工事の安眠になるガス管撤去作業の依頼を受けていたため、建設工事業者の作業員がガス管撤去工事実施前に、ガス管の上流にバルブがあったことにより、バルブが閉止されガスの流入がないものと思いつき、ガス管をガスバーナーにて溶断したものの。その際、ガス管を溶断して漏えいしたガスに、ガスバーナーの火が着火したものと推定される。
57	4/29	大阪	衛生工事	都市ガス	0	消防から「マンション内で工事中、ガス管を破損した。消防出動中」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、排水弁取替工事中、コンクリート舗装カッター切りにて、灯外内管を破損したものの。
58	4/29	東京	改修・改装	都市ガス	0	設備工事業者から「改修工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、設備工事業者が排水管工事に伴うコア抜き作業中に灯外内管を損傷したことを確認した。原因は、設備工事業者が、掘削作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、当該敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものの。
59	5/5	岐阜	解体工事	LPガス	0	団地内の一般住宅において、消費者よりガスが使用できない旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、容器(50kg×10本)に蓋がついており、空であることを確認した。その後、団地の当該住宅と同じ区画内で行われていた家庭の解体工事に伴い、供給管が損傷したことを確認した。原因は、解体工事業者が作業中に供給管を損傷したことによるもの。なお、解体工事業者は供給管の損傷に気が付いていなかったとのこと。また、解体工事業者から工事に関する事前連絡は行われなかったとのこと。
60	5/11	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体現場の近隣住民よりガス臭気の申し出があった」との通報を受け、出勤したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管及び供給管が損傷していることを確認した。灯外内管を重機で損傷させた。また灯外内管を引っ張った際に、供給管が損傷したものの。なお、解体工事業者によると、当該解体現場の整地作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
61	5/11	兵庫	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	地盤改良工事業者から「敷地内地盤改良工事中にガス管を破壊」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破壊を確認した。原因は、地盤改良工事中、ボーリングマシンにて、灯外内管を破壊したものの。
62	5/13	愛知	下水工事	都市ガス	1	集合住宅敷地内において、下水工事のカッター作業中に、灯外内管を損傷してガスが漏れ出した。漏れ出したガスを止めようとして、周りのコンクリートを削った際に着火し、作業員1名が軽度の火傷を負った。原因は、下水工事業者が、工事範囲内にガス管が無いと思い込み、カッター作業を行ったため。
63	5/13	大阪	衛生工事	都市ガス	0	衛生設備工事業者から「マンション内の排水管改修工事に、コアドリルにてガス管を破壊」との通報を受け、出動したところ、破壊箇所付近にてガス臭気を確認した。ガス事業者が安全確保のため、引き込み管遮断バルブを閉止し、当該建物の需要家51戸の供給支障が発生した。調査の結果、灯外内管の管体部破壊を確認した。原因は、敷地内の排水管改修工事に伴うコアドリル作業中、灯外内管の管体部を破壊したものの。
64	5/14	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ビルの立体駐車場の解体工事にガス管を破壊した。詰め物をして手当済み」との通報を受け、出動したところ、ガスが噴出していた。ガス事業者が安全確保のため、引き込み管遮断バルブを閉止し、当該建物の需要家50戸の供給支障が発生した。調査の結果、灯外内管の継手部破壊を確認した。原因は、ビル立体駐車場解体工事中、アイオンブレーカーにて、灯外内管を破壊したものの。
65	5/15	大阪	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「水道工事に供給管を破壊。手当てせずを覆せている」との通報を受け、出動したところ、供給管の取出し部(ネジ部)での折損を確認した。原因は、水道工事中、掘削機(バックホウ)にて、供給管を破壊したものと推定される。
66	5/15	大阪	外構・門扉工事	都市ガス	0	外構工事業者から「敷地内コンクリート部をコアドリルで掘削時にガス管を破壊した。メーターガス栓閉止するも噴出止まらず」との通報を受け、出動したところ、灯外内管継手部の本体破壊を確認した。原因は、敷地内門柱設置工事中、コンクリートコアドリルにて掘削作業中、灯外内管の継手部本体を破壊したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
67	5/16	京都	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	舗装工事業者から「道路舗装工事中、舗装を飛ばした際に、バルブのようなものをコンポで破壊した」との通報を受け、出動したところ、供給管の取出し部での破壊を確認した。原因は、道路舗装復旧工事中、バックホウ(掘削機)にて供給管を破壊したものの。
68	5/16	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中に、ガス管を引っ掛けた。手当なく臭気大」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の継手部の折損を確認した。原因は、解体工事中、バックホウ(掘削機)にて灯外内管(不明不使用管)を破壊したものの。
69	5/16	大阪	外構・門扉工事	都市ガス	0	建築工事業者から「外構工事中に、灯外内管を破壊。ガス噴出中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の継手部(ネジ部)の折損を確認した。原因は、外構工事中、バックホウ(掘削機)にて灯外内管(不使用管)を破壊したものの。
70	5/18	千葉	下水工事	都市ガス	1	他工事業者が、敷地内の下水道工事中に、コンクリートカッターで作業を行っていたところ、誤って灯外内管を破壊した。漏れ出したガスがカッターから発生した火花により引火し、作業員1名が火傷を負った。また、建物の網戸を一部焼損した。原因は、他工事業者が、工事範囲にガス管が無いと思い込み、ガス管の位置を確認せずにカッターで作業を行ったため。
71	5/19	鳥取	建設工事	LPガス	0	学校等において、建設工事業者が「トイレ床土間コンクリートの新り工等を行った際、土中に埋設された配管を損傷させ漏れが発生した。現場に居合わせた設備業者が漏れしているバルク貯槽消費側のバルブを閉止し、販売事業者へ連絡をした。販売事業者が現場へ出動し損傷部の取り替え修繕を行った。原因は、建設工事業者が工事中作業器具(エアブローカ)により埋設配管を損傷させたことによるもの。 (バルク貯槽 490kg×1基)
72	5/21	鳥取	整地・造成工事	LPガス(簡易)	0	供給管に根がからみついた樹木を、重機により撤去しようとしたため、引き込みバルブ上流ねじ部を折損した。保安のため、調整戸数47件を供給停止した。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
73	5/22	滋賀	除雪作業等	都市ガス	0	斎宮家から「隣宅のガスメーター付近よりガス臭気、消防へも通報した。」との通報を受け、出動したところ、灯内管内の破損箇所を確認した。 原因は、草刈り機の操作ミスによるガス管破損と推定される。 造園業者からガス事業者への事前協議は無し。
74	5/27	静岡	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者から、埋設管を損傷しガスが漏れしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、埋設供給管が損傷していることを確認した。 原因は、水道工事業者が隣接する新築一般住宅の水道管敷設工事に伴う掘削作業中に共同住宅の埋設供給管を損傷したことによるもの。 なお、水道工事業者から販売事業者への事前連絡は無く、物件管理会社に対しても詳細な工事の日時が知らされないうまま工事が行われたとのこと。 また、新築一般住宅は共同住宅の所有者の家賃が施工主であったことから、共同住宅の敷地内を通じて、水道管敷設工事が行われたとのこと。
75	5/27	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体現場において、ガス管を損傷させた」との通報を受け、出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が建物解体に伴う掘削作業中に、当該敷地内に埋設されていたガス管を重機にて損傷したものの、ガス事業者は、解体工事業者より当該建物の解体に伴いガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行った。その際、当該敷地内にガスの通じたガス管が配管されていることの周知を行った。 なお、解体工事業者によると、当該敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることを認識していたが、掘削する作業範囲内にはガス管はないと思いを込み、当社に照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
76	5/27	福岡	解体工事	都市ガス	0	「広範囲にわたりガスの臭いがする」との通報を受け、出動したところ、臭気を確認したが、漏洩箇所が特定できず、即時ガス止め工事が出来ない為、特定製造所にて供給停止し、91戸の供給支障が発生した。 原因は、一般住宅において解体工事を行っており、解体現場裏手の家にある灯外内管の損傷が漏洩の原因と思われる。裏手の家に敷設されている灯外内管が、当該解体現場との境界付近まで敷設されており、今回の外構基礎解体工事の際に基礎に巻き込まれ損傷された可能性が高い。
77	5/30	神奈川県	草刈業者	LPガス	0	事務所において、家中監視センターにて継続使用時間オーバー遮断予告を受信し、消費者に連絡をした。消費者よりガス器具の点検はしていないが客室よりガス漏えい音がし、メーターが回っている旨の報告を受け、販売事業者が現場に出動したところ、メーターが圧力低下遮断(BCP表示)していることを確認した。全ての器具栓を閉めメーター復旧操作をしたところ、合計増加流量オーバー遮断(O表示)したことから、翌日漏えい箇所を調査したところ、埋設配管より漏れしていることを確認した。 原因は、事故の前日に草刈業者が防草シートを固定するため地面に杭を打ったことにより、埋設されていた配管用フレキシ管を損傷させたことによるもの。
78	6/3	大阪	下水工事	都市ガス	0	下水工事業者から「雨水工事中に逆閉機にてガス管を破損。臭気大、手当不可で土中に埋めている」との通報を受け、出動したところ、本管管体部での破損を確認した。 原因は、雨水工事中、バックホーにて本管を破損したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
79	6/3	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「路地入口、立管位置との別の所を掘削中に、臭気あり」との通報を受け、出動したところ、灯外内管及び供給管が破損したことを確認した。 原因は、解体工事中、バックホー(掘削機)にて灯外内管及び供給管掘削手を破損したものの。
80	6/4	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事に伴うガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、建物解体工事に伴う足場設置に伴う杭打ち作業中に灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、杭打ち作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にてガス管の位置確認の照会を行うことなく作業した結果、打設した杭にて敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものの。
81	6/5	栃木	外構工事業者	LPガス	0	共同住宅において、外構工事業者から埋設配管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、埋設供給管(ポリエチレン管)の継手部の損傷を確認した。 原因は、外構工事業者が掘削作業中に重機を埋設供給管に接触させ、継手部が破損したことによるもの。
82	6/6	滋賀	水道工事業者	LPガス	0	団地内の一般住宅において、水道工事業者が掘削作業中に埋設供給管(ポリエチレン管)を損傷し、ガスが漏れした。 なお、販売事業者は工事前に水道工事業者と埋設管の位置を図面にて確認したが、現場立会いが行わなかったとのこと。また、以前供給を行っていた販売事業者から受領した図面と実際供給管の位置が相違しており、当該掘削箇所には供給管が無いと認識していたとのこと。
83	6/10	熊本	電柱設置工事	LPガス(簡易)	0	当該団地付近で電柱の支柱施工業者が、穴掘建機にてスクリーナーを回転させ、斜めに掘削中、ガス管を損傷しガスが漏洩。安全確保のため全151戸のガス供給を停止した。 原因は、設備工事管理会社より、施工場所にはガス管は存在しないと説明を受けた支柱施工業者が掘削した事によるもの。
84	6/13	福岡	設備工事	LPガス	0	共同住宅において、設備工事業者よりガス管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、壁内に隠ぺいされている供給管(SGP)が損傷していることを確認した。 原因は、設備工事業者が壁の切断作業の際に、壁内の隠ぺい供給管に気が付かず、管を損傷したことによるもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
85	6/13	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管ならびに供給管を損傷したことを確認した。原因は、解体工事業者が敷地内に埋設されていた灯外内管を重機にて引っ掛けた結果、供給管ならびに灯外内管を損傷したものである。ガス事業者は、解体工事業者より当該建物の解体に伴いガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界付近でのガス管切断作業を行った。その際、敷地内にガスの通じたガス管が配管されていること及び埋設位置の周知を行った。なお、解体工事業者によると、当該敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることを認識していたものの、ガス管埋設位置を誤って認識していたため、並削作業時に重機にてガス管を損傷したとのこと。
86	6/17	東京	建物改修・改築工事	都市ガス	0	設備工事業者から「建物の改修工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。原因は、コンクリート削り作業の範囲内にガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者によるガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものである。
87	6/18	広島	水道工事業者	LPガス	0	一般住宅において、下水道工事業者から埋設管を損傷し、ガスが漏れ出しているとの連絡を受けた配送事業者が容器バルブの閉止を指示した。その後、販売事業者が現場にて埋設供給管(SGP)が損傷していることを確認した。原因は、水道工事業者が掘削作業の際、カッターで埋設供給管を損傷したことによるもの。
88	6/18	大阪	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事中にガス管破損」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、解体工事中、解体用つかみ機にて灯外内管管体部を破損したものである。
89	6/19	愛知	下水工事	都市ガス	0	集合住宅敷地内の下水工事にて、カッター作業中に灯外内管を損傷し、ガスが漏れ出し、漏れ出したガスを停止するため、引込管バルブを閉止したことにより当該集合住宅が供給支障となった。原因は、下水工事業者が、工事範囲にガス管が無いと思込み、カッター作業を行ったため。
90	6/22	岐阜	他工事業者	LPガス	0	店舗において、近隣住民よりガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、ガス検知器による漏れ確認を行ったところ、創滑より反応があったものの漏れ箇所は特定できなかった。その後、住民より当該店舗で前日に自動販売機の入替え作業があったとの情報を提供を受け、自動販売機を移動し掘削により確認したところ、供給管が損傷していることを確認した。原因は、自動販売機の設置時に転倒防止用アンカーを地盤面に打ち込んだことで、アンカーが供給管を損傷させたことによるもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
91	6/24	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「敷地内基礎解体工事中に、コンクリートに巻き込まれていたガス管を破損。噴出音がしてガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管のねじ継手部破損を確認した。原因は、建物基礎解体工事中に、掘削機(バックホー)により灯外内管を破損したものである。
92	6/26	兵庫	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事業者より解体工事中、ガス管を破損したと連絡があり消防・警察出動中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、掘削機(バックホー)にて、誤って灯外内管を破損したものである。
93	6/28	大阪	建物建築工事	都市ガス	0	建設工事業者から「新築工事中、臭気」との通報を受け、出動したところ、供給管を破損したことを確認した。原因は、敷地内掘削作業中、バックホーにて灯外内管を誤ってひっかけ、供給管を引き抜き破損したものである。
94	7/2	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガレージ解体中に、敷地内埋設部でガス管を破損。ガスが噴出中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、敷地内掘削作業中、バックホーにて灯外内管を誤って破損したものである。
95	7/3	熊本	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	需要家から「ガスが出ない」との通報を受け、出動したところ、当該地区のガス管内に水が流入し滞水していることを確認した。滞水による供給支障は周辺需要家151戸。原因は、他工事業者によるオーガーを用いた地盤改良工事中に、支管と給水管を同時に損傷し、損傷箇所から水道水が流入したことが確認された。
96	7/5	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガス管を引っ張り、敷地境界付近で抜けた。粘土で塞ぎみだが少しガス臭い。商店街の中です」との通報を受け、出動したところ、灯外内管のねじ継手部の破損を確認した。原因は、建物解体工事中、掘削機(バックホー)による作業時に、誤って灯外内管を破損したものである。



No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
97	7/6	東京	解体工事	都市ガス	0	別荘でガス管の修繕を行っていた協力企業から、「建物1階店舗内を解体していた内装工事業者よりガス管を損傷」との報告を受け、当社に通報。出勤したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。原因は、内装工事業者によると、当該建物1階店舗内の解体工事作業範囲内にガスの通じたガス管はないと思ひ、当社にガス管の有無及び配管経路の照会を行うことなく作業した結果、ガス管を損傷したとのこと。
98	7/9	東京	排水工事業者	LPガス	0	事務所において、消費者よりガスが使えないとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し確認したところ、メーターが合計・増加流量オーバー遮断(C表示)されていることを確認した。原因は、事故の2日前に当該事務所の排水工事を行った際、誤って配管を損傷させたことによるもの。
99	7/10	東京	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事現場がガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の漏えいを確認した。原因は、解体工事業者が、当該建物のガス管が地境付近で微云済みであると思ひ込み、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、ガス管を損傷したものと推定される。
100	7/11	奈良	解体業者	LPガス	0	一般住宅(小規模導管供給先)において、解体工事業者が電動工具により埋設供給管を切断し、漏えいたしたガスに工具の火花が引火した。原因は、解体工事業者が作業中に埋設供給管の立ち上がり部分を誤って切断したことによるもので、埋設供給管にガスが充填されていることを確認していなかった。なお、当該住宅は約10年前からオール電化住宅に変更していたが、埋設供給管は残っていたとのこと。
101	7/12	静岡	外構・門扉工事	LPガス(簡易)	0	工事業者から「ブロック塀を作る為に境界付近を密削している際に灯外内管を損傷」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。二次災害防止と損傷部の掘削作業の為に、支管(40mm)のバルブを閉止し33戸の供給を停止した。原因は、作業範囲内にガス管が埋設配管されていると思わず、位置確認の照会をしなかった結果、灯外内管を重複で損傷したものの、プラグ止めにて修理完了。
102	7/12	東京	電気工事	都市ガス	0	電気工事業者から「電気工事中、道路にカッターを入れたらガス臭気があがった」との通報を受け、出勤したところ、カッターにより支管が損傷していることが判明した。原因は、電気工事業者が、ガス管の埋設物調査を行わず、かつ当社に承認のままで施工したところ、支管が不明コンクリート構造物の上部に深く埋設されていたため損傷したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
103	7/13	大阪	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「カッター切り作業中にガス管を破損、メーターガス栓を閉止するもガス噴出止まらず」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、敷地内でカッター切り作業をしている際に、灯外内管の直管の管体部を破損したものの。
104	7/17	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	地質調査業者から「敷地内地質調査時、ボーリングマシンによりガス管を破損、臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、地質調査に伴うボーリングマシン作業中に、灯外内管の直管管体部を誤って破損したものの。
105	7/22	奈良	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体中、ガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管からのガス漏えいを確認した。原因は、解体工事業者が無連絡で建物解体工事を実施し、掘削機(バックホー)にて、灯外内管を破損したものの。
106	7/23	埼玉	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者が、敷地境の塀壁の解体を行っていたところ、土中の灯外内管を損傷、解体作業で発生した何らかの火花により、漏えいたしたガスに引火し爆発を損傷した。原因は、ガス管の埋設位置を確認せずに塀壁解体作業を行ったため、ガス管を損傷したものの。
107	7/25	東京	リフォーム業者	LPガス	0	共同住宅において、改修工事業者が配管を損傷させ、ガスが漏えいたした。原因は、改修工事業者がマンホール移動のため、当該住宅のコンクリートを掘削した際、誤って埋設供給管に穴を開けてしまったことによるもの。
108	7/25	兵庫	水道工事	LPガス(簡易)	0	水道工事業者が道路掘削機で、支管を破損しガスが漏洩した後、ガスに引火したものの。原因は、水道工事業者が、ガス管があることを認識せずに選管掘削機で支管を破損し、ガスが漏えい、ガス漏れ箇所を特定するために電動コンクリートブレイカーでアスファルトを研ったところ着火したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
109	7/25	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	消防から「解体工事現場がガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が敷地作業の際に、敷地内に埋設されていた灯外内管を重機にて損傷したものである。 ガス事業者は、解体工事業者より建物解体に伴い、ガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行った。その際、当該敷地内にガスの通じたガス管が埋設されていることの周知を行った。 なお、解体工事業者によると、ガス管表示杭の位置をあらかじめ確認できていることから、敷地内の整地作業範囲内にはガスの通じているガス管はないものと思い作業したところ、重機にてガス管を損傷したとのこと。
110	7/26	東京	基礎工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ガス管を損傷させた」との通報を受け、出勤したところ、巨鋼打ち込み作業中に、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、建設工事業者は、設備工事業者より「ガス管は道路面で切った」と聞いていたことから、敷地内にガス管がないと思いつき、ガス業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、ガス管を損傷したものである。
111	7/29	岡山	水道業者	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が工事中に電動工具により配管を損傷させ漏えいしたガスに着火した。なお、マイコンメーターよりガスを遮断したことから火災には至らなかった。 原因は、水道工事業者が配管(白管)を水道管と勘違いし、電動工具で切断し損傷させたことによるもの。 なお、水道工事業者より販売事業者に工事の事前連絡は行われなかったとのこと。
112	7/29	東京	道路補装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者から「カッター作業時にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、供給管が損傷されていることを確認した。 原因は、道路工事業者がカッターにて作業したところ、供給管が浅く埋設されていたため損傷したものである。
113	7/30	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、掘削機にてガス管を破壊。ガスが噴出し臭気有り。手当てしていない」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破壊を確認した。 原因は、解体工事業者が、ガス管があることを認識せず、掘削機(バックホウ)にて灯外内管を破壊したものである。
114	7/31	神奈川	排水管工事業者	LPガス	0	一般住宅において、容積配達業者より排水管工事業者が埋設配管埋手手を損傷させた旨の連絡を受け、販売事業者が現場に出勤し、容積のバルブを閉止した後、メーターが合計・増加流量オーバー表示(C表示)していることを確認した。 原因は、排水管工事業者が排水管の入れ替え工事におけるコンクリート切断作業時に、カッターを埋設配管埋手手に接触させたことによるもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
115	7/31	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体作業中にガス臭気する」との通報を受け、出勤したところ、解体工事業者が作業中に、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因はガス事業者がガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にて敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものである。
116	7/31	東京	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事現場がガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、解体工事業者が作業中に、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者は、地主がガスの停止を申し込むことになっていたため、実際は図録のみであったにも関わらずガス管が地境付近で掘き込みであると思いつき、ガス業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にて敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものである。
117	8/3	鳥取	住宅改修工事業者	LPガス	0	一般住宅において、住宅改修工事業者が埋設供給配管手手を損傷させ漏えいが発生した。 原因は、改修工事業者が駐車場整備のため重機で花壇を掘削した際、引き込みバルブに引っかかり埋設供給配管接続部を損傷させたことによるもの。
118	8/3	福島	下水道工事業者	LPガス	0	道路において、下水道工事業者より工事中に埋設供給管を損傷した旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し緊急処置を行った。 原因は、下水道工事業者が掘削作業中に重機を埋設供給管に接触させ、損傷させたことによるもの。 なお、販売事業者は下水道工事業者から事前の事前連絡を受け、埋設管の確認を行い、当日も立会いの上埋設管の位置を確認していたが、掘削作業実施者への注意が不足していたことと推測される。なお、事故は販売事業者が現場から退去した後に発生した。
119	8/3	大阪	解体工事	都市ガス	0	需要家から「需要家本人にて解体工事実施中に、門扉横を掘削しすぎ取った際に、ガス管を破壊。漏れが上っている。手当てなし」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破壊を確認した。 原因は、需要家本人にて解体工事中に、灯外内管をバックホウにて破壊したものである。
120	8/3	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体作業中にガス臭気する」との通報を受け、出勤したところ、解体工事業者が作業中に、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者は、既に線切りされていりLP設備を確認していたことから、当該敷地内にガスの通じたガス管はないと思いつき、ガス業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にて敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものである。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
121	8/3	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管ならびに供給管が損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が敷地内に埋設されていた灯外内管を重機にて引っ掛けた結果、灯外内管ならびに供給管を損傷したものである。 ガス事業者は、解体工事業者より当該建物の解体に伴いガス管の切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行った。その際、敷地内にガスの通じたガス管が配管されていること及び埋設位置の周知を行った。 なお、解体工事業者によると、敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることを認識していたものの、コンクリート壊し作業時に重機にてガス管を損傷したとのこと。
122	8/5	東京	その他改修工事	都市ガス	0	建設工事業者から「建物1階敷地内でのコンクリートカッター作業中にガスが噴出した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、建設工事業者が1階店舗前のスロープを階段に変更するため、コンクリートカッター作業を行った際、灯外内管を損傷したものである。 なお、建設工事業者によると、管見視近傍に貼付されたガス管表示シールによりガス管が埋設されていることの認識はしていたものの、コンクリートカッター作業の範囲内には埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者によるガス管の位置確認を行うことなく作業した結果、コンクリートカッターにてガス管を損傷したとのこと。
123	8/6	東京	水道工事	都市ガス	0	設備工事業者から「給水工事作業中にガス臭気を感じた」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、設備工事業者が9階住戸の給水管取替に伴うパイプシャフト内コア抜き作業の際、灯外内管を損傷したものである。 また、ガス事業者が安全確保のため分岐バルブを閉じた結果、当該建物内83戸の供給支障が発生した。 なお、設備工事業者によると、給水管取替に伴うコア抜き箇所が給水管を抜きガスメーターの反対側であったことから、作業範囲内にガス管が配管されているとは思わなかったため、ガス事業者によるガス管の位置確認を行うことなく作業した結果、コア抜き用ダイヤモンドカッターにてガス管を損傷したとのこと。
124	8/7	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体作業中、ガス管を破損、シューと音がしてガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、前日、ガス事業者と解体工事業者にて協議し、当日の夕方にガス事業者にて割溝でカットを行う約束であったが、解体工事業者がガス事業者に連絡無しで先行して工事を行い、誤ってガス管を破損したものの。
125	8/8	長野	草刈作業	LPガス	0	共同住宅において、町職員が敷地内の草刈作業を行っていたところ、誤って草刈機を配管に接触させ漏えいが発生した。 なお、ガスメーターによりガスは遮断されたとのこと。
126	8/8	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	新築工事業者から「敷地内新築工事時、ガス管を破損、ガスが噴出し、手当てできない」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、新築工事に伴う整地工事時にバックホウ（掘削機）にて灯外内管を誤って破損したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
127	8/9	山口	大工	LPガス	0	一般住宅において、建設業者が屋根の張替え工事の作業中に、誤って配管（配管用フレキシ管）を損傷させ、漏えいが発生した。なお、建設業者は直ちに容器バルブを閉じた。 原因は、建設業者が誤って垂木のない部分に釘を打ち、釘が軒下の配管用フレキシ管を貫通したことによるもの。 なお、建設業者は工事前に配管の位置確認を行わなかったとのこと。
128	8/17	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家屋の解体工事中に、ガス管を破損、ガスが噴出した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、家屋解体作業中、バックホウにて灯外内管を破損したものの。
129	8/20	兵庫	水道改修工事	都市ガス	0	病院関係者から「2階給湯室の水道修理時に、ガス管を破損した。ガス管は壁内で見えていない」との通報を受け、出動したところ、灯内内管の破損を確認した。 原因は、水道工事業者が携帯電気ドリルで壁に穴を開ける際に、灯内内管を破損したものの。
130	8/22	福岡	他工事業者	LPガス	0	共同住宅において、他工事業者より壁の張り替え工事に誤って配管を切断した旨の連絡を受けた販売業者が現場へ出動し、ガスメーターが合計・増加流量遮断（C表示）していること及び配管からの漏えいを確認した。 原因は他工事業者が壁内を確認せず壁にカッターを適用し、内部の配管を破損したことによるもの。 なお、他工事業者は消費者に配管の確認を行なったが、消費者は壁内の配管を把握していなかったとのこと。
131	8/22	京都	建物改修・改築工事	都市ガス	0	増改築工事業者から「店舗増改築工事時コンクリートカッターでコンクリート切断中ガス管を破損、手当てできず、ガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、電動コンクリートカッターにてコンクリート切断時、誤って灯外内管を破損したものの。
132	8/24	京都	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「敷地内で工事中に、掘削機（バックホウ）でガス管を破損し、手当てなし」との通報を受け、出動したところ、灯外内管のねじ部の破損を確認した。 原因は、整地工事中にバックホウ（掘削機）にて不使用の灯外内管のねじ部を破損したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
133	8/28	大阪	外構・門扉工事	都市ガス	0	増改築工事業者から「駐車場の土間をコアドリルにてコア抜き作業中に、ガス管を破損。コアドリルはそのままの状態で、濡れタオルで手当て」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、敷地内(駐車場)のフェンス設置工事に伴い、土間をコアドリルにてコア抜き作業中、誤って灯外内管を破損したものの。
134	8/29	奈良	解体工事	都市ガス	0	警察から「解体工事現場でガス管が破損し、ガスが噴出している」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、解体工事業者が当該敷地内にはガス管はないものと思いつき、基礎コンクリート部分をバックホウにて掘削していた所、灯外内管を破損したものの。
135	8/31	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管(40mm:プラスチック被覆銅管)の損傷を確認した。原因は、解体工事業者が敷地内の樹木を重機にて引き抜いた際、埋設されていた灯外内管を損傷したものの。なお、解体工事業者によると、当該敷地内の樹木を引き抜く作業の範囲内にはガスの通じたガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく重機にて樹木の引き抜き作業を行った結果、敷地内に埋設されていたガス管を損傷したとのこと。
136	9/2	埼玉	植栽業者	LPガス	0	特別養老ホームにおいて、消費者から地盤業者による草刈作業中にガス管を損傷した旨の連絡があり、到着した販売事業者が損傷箇所の1次側バルブを閉止し漏えいを閉止した。原因は、草刈作業中に草刈機の刃で埋設ガス配管立ち上がり部を損傷させたことによるもの。
137	9/3	兵庫	解体工事	都市ガス	0	需要家から「屋外でガス臭気あり、消防が出動中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、解体工事中、掘削機(バックホウ)にて敷地内の灯外内管を破損したものの。
138	9/9	香川	水道改修工事	LPガス(簡易)	0	水道工事業者による鉛管の取替工事中、重機による掘削作業中に、供給管を破損したことによりガスが漏出し、その後漏出したガスに着火した。水道工事業者の通報により消防が出動し、消防からの指示により製造所のメインバルブを閉止した為、供給完全で供給停止となったもの。原因は、水道工事業者がガス管を確認しないで工事を行ったため。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
139	9/10	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物基礎の解体作業中にガスが噴出した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。原因は、解体工事業者が基礎を解体する作業の際、灯外内管を重機にて損傷したものの。なお、解体工事業者によると、当該敷地内にガスメーターが設置されていなかったことから、当該建物の基礎を解体する作業範囲内にガス管があるとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
140	9/11	東京	解体工事	都市ガス	0	ビル管理者から「当該住所付近にてガス臭気する」との通報を受け、出動したところ、解体工事業者が建物解体の際、灯外内管を重機にて損傷したことを確認した。原因は、解体工事業者が、当該建物内にガスは通じていないものと思慮したため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
141	9/13	大阪	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から「付近住民からガス管が破損され、噴出音があり、臭気もある」との通報ありとの通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、駐車場の増改築工事に伴い、電動ハンマーで研り中に、灯外内管の管体を破損したものの。
142	9/14	長野	水道工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者より埋設配管を掘削させ、ガスが漏えいしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、容器バルブを閉止した。原因は、水道工事業者である消費者が水道管修理のため、敷地内のコンクリートを掘削した際、誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。
143	9/20	奈良	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、ガス管破損」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、門控解体工事中、バックホウで灯外内管を破損したものの。
144	9/20	福岡	リフォーム工事	都市ガス	0	電化住宅で浴室リフォーム業者が、閉鎖中の灯外内管を電動工具(サンダー)で切断した際に火花が漏えいしたガスに引火した。原因は、当該住宅が電化のため、リフォーム業者は、ガス管があってもガスが供給されていないと判断し、ガス事業者への照会無しで施工したため着火事故となったもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
145	9/20	兵庫	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者から「防護柵設置工事中にカッターでガス管を破壊した。ガス管はコンクリートに埋まっているため手当てできない。臭気あり」との通報を受け、出動したところ、支管の破壊を確認した。原因は、転落防止柵設置工事における、コンクリートコア抜きカッターにより支管を破壊したものの。
146	9/24	新潟	解体業者	LPガス	0	一般住宅の空き家において、解体工事業者の作業中に外壁に設置されていたエアコンの室外機が作業の振動により配管上に落下し、ガスメーター立ち上がり部の配管継手を損傷させ、漏えいが発生した。
147	9/25	佐賀	他工事業者	LPガス	1	飲食店において、他工事業者より建物改修中に爆発が発生し、当該作業員1名が軽傷を負った。原因は、他工事業者が作業中、誤って電動工具により露出配管を切断したことで、ガスが漏えいしたものの。なお、消費者及び他工事業者より販売業者への事前照会はなかったとのこと。
148	9/26	東京	解体工事	都市ガス	0	需要家から「道路上でガスのような臭いがする」との通報を受け、出動したところ、灯外内管及び供給管が損傷したことを確認した。原因は、解体工事業者が解体作業の際に、敷地内に埋設されていた灯外内管を重機で引っ掛けた。灯外内管及び供給管を損傷したものの。ガス事業者は解体工事業者の元請け会社より、建物の解体に伴うガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を実施した。その際に切断箇所的位置及び同敷地内には当該集合住宅へのガス管が埋設されていることの周知を行った。なお、解体工事業者によると、当該集合住宅へのガスの通じているガス管が埋設されていることの作業員への引継ぎが適切にされていなかったことから、作業範囲内にガスの通じているガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
149	9/26	東京	解体工事	都市ガス	0	需要家から「道路上でガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。原因は、解体工事業者が当該建物を解体する作業の際、灯外内管を重機にて損傷したものの。なお、解体工事業者によると、元請け業者より当該建物はオール電化であったこと、また、敷地内に配管されていたガス管にはガスが通っていないことを聞いていたため、既に切断されているガス管と思い込み、ガス事業者に事前照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
150	9/27	北海道	解体工事	LPガス(断島)	0	他工事会社から「解体工事中、建物内で折損し着火し、既に消し止めの火災はないが、至急来て欲しい」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の損傷及び着火を確認した。原因は、他工事会社がセイバーソーにより、灯外内管を切断したため着火したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
151	9/30	兵庫	その他(水路転落防止工事)	都市ガス	0	水路工事業者から「フェンス設置工事時、コア抜き作業中にガス管を破壊」との通報を受け、出動したところ、支管の破壊を確認した。原因は、水路転落防止工事に伴うコア抜きにより、支管を破壊したものの。
152	10/1	大阪	現場解体業者	LPガス	0	一般住宅において、現場解体業者より埋設配管を損傷させた旨の連絡を受け、販売事業者が到着し、埋設配管の損傷を確認した。原因は、現場解体業者がLPガス配管を認識していなかったため、油圧ショベルにより誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。なお、現場解体業者は付近に埋設されている都市ガス業者に連絡を行い、到着した都市ガス業者により当該LPガス配管の処置済みであったとのこと。
153	10/1	福岡	他工事業者	LPガス	0	道路において、他工事業者が信号機支柱取替のための掘削作業中に重機で埋設供給管(ポリエチレン管)を損傷させガスが漏えいした。なお、他工事業者は販売事業者と事前協議を行ったものの、埋設管の位置確認に縮小図を使用したため、当該埋設供給管を見落としていたとのこと。
154	10/1	大阪	電柱設置工事	都市ガス	0	電話工事業者から「電柱工事時、オーガーにて破壊。土砂埋め民している。臭気あり」との通報を受け、出動したところ、支管の損傷を確認した。原因は、電話工事に伴う電柱設置工事時、アースオーガーにて誤って支管を破壊したものの。
155	10/5	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	建設(新築)工事業者から「地盤改良工事時に伴う杭打ち作業中に、ガス管を破壊。粘土にて手当中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破壊を確認した。原因は、地盤改良作業時に、アースオーガーにて誤って灯外内管を破壊したものの。
156	10/7	東京	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	舗装工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、低圧供給管からガスが漏えいしていたことが判明した。原因は、舗装工事業者がカッターにて作業したところ、供給管が深く埋設されていたため損傷したものの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
157	10/8	和歌山	建物改修・改築工事	都市ガス	0	消防から「屋外で臭気あり」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の管体破損を確認した。 原因は、増設工事業者が、工事支障のため、灯外内管の管体を、都市ガスのガス管では無いと誤認し、のこぎりで切断したものの。
158	10/9	長崎	他工事業者	LPガス	0	飲食店において、家中監視システムより微量漏えい警報を受信した販売業者が現場に出動したところ、未使用の末端ガス栓(可とう管ガス栓)からの漏えいを確認し、閉栓作業を行った。 原因は、当該飲食店が8月より営業を休止し、9月に他工事業者に燃焼等の撤去を依頼した。他工事業者が撤去作業を行った際、末端ガス栓にプラグ止めを行わずかつ開放したまま作業を終了したことにより、ガスが漏えいしたものの。 なお、消費者は販売業者に閉栓依頼及びガス機器の撤去作業の連絡をしていなかった。 (バルク貯槽 498 kg×1基)
159	10/13	三重	解体工事	LPガス(簡易)	0	需要家から通報があり、特定製造所を確認した所、ガス切れによる供給支障が発生していた。 原因は、一般住宅の建屋の解体をするための足場を組立てる際に、単管パイプを地面に打込み、灯外内管を損傷させたことにより土中にガスが漏洩し、特定製造所がガス切れとなったもの。
160	10/14	福岡	他工事業者	LPガス	0	病院において、他工事業者がポストの入れ替え工事のため掘削作業を行ったところ、埋設配管を損傷しガスが漏えいした。 なお、他工事業者は工事前に配管があることを確認していなかった。
161	10/16	東京	外構・門扉工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、建設工事業者からの依頼を受けた下請け業者が、建物1階へのフェンス設置工事に伴うコンクリートコア抜き作業中、コンクリート下に埋設されていた灯外内管を損傷したものの。なお、下請け業者により当該建物の引込管ガス遮断バルブが閉止されたことで、当該建物内需要家33戸への供給支障が発生した。 また、建設工事業者によると、下請け業者は、当該建物の引込管ガス遮断バルブの位置を予め確認した際に、作業(コア抜き)箇所よりも深い位置にバルブが見受けられたことから、バルブと同じ深さにガス管が埋設されていると思ひ込み、ガス業者にガス管位置確認の照会を行うことなく作業した結果、コア抜き用ダイヤモンドカッターにてガス管を損傷したとのこと。
162	10/16	兵庫	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「敷地内で掘削中、ガス管が露出したが、施工より差管と見られたため、サンダーでガス管を切断したところ火が出た。土を撤去した現在も火が出ている」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損・着火を確認した。 原因は、施工情報により差管と勘違いし、灯外内管(不使用管)をサンダーにて切断したことにより着火に至ったもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
163	10/17	大阪	解体工事	都市ガス	0	消防から「通行人より道路でガス臭い。消防出動中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の継手部の破損を確認した。 原因は、解体工事中、掘削機(バックホー)にて灯外内管(不使用管)を誤って破損したものの。
164	10/18	広島	解体工事	都市ガス	0	消防から「建物火災との通報を受け、出動したところ、建物解体中に灯外内管を損傷し、漏えいしたガスに着火した。 原因は、重機で灯外内管を損傷し、建物の鉄骨をアシテレンバーナーにて切断中に漏えいしたガスに着火したものと推定される。
165	10/20	神奈川	解体業者	LPガス	0	一般住宅において、解体業者からガス配管を破損した旨販売業者に連絡があり、現地を確認したところ供給側の埋設配管の破損を確認した。 原因は、解体業者の注意不足によるもの。 なお、解体前、販売業者はガス注意の旨の杭を打ったが、配管経路等の打ち合わせがなく解体する建物のすぐ横を通る埋設管のことは知らなかったとのこと。
166	10/21	石川	衛生工事	都市ガス	0	他工事業者から「ガス管を損傷」との通報を受け、出動したところ、当該建物の排水管の毛管管修繕工事において、コンクリートカッターで灯外内管を損傷したことを確認した。 保安確保のため、引込管遮断バルブを閉止したため、34戸の供給支障が発生した。 原因は、他工事業者がガス管の埋設位置を確認せずにカッターを入れたため。
167	10/22	東京	その他(不明)	都市ガス	0	圧力監視システムから「圧力異常警報」を受け、出動したところ、差水による供給支障であることが判明した。 原因は、過去に低圧本管が他工事でより損傷され、その損傷部分より地下水が流入したことにより、低圧本管を開塞したため供給支障となったもの。
168	10/23	東京	設備工事	都市ガス	0	設備工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、設備工事業者が、建物1階の水道工事に伴うコンクリート研り作業中、コンクリート下に埋設されていた灯外内管を損傷したものの。 なお、損傷箇所の修理のために当該建物の引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、当該建物内需要家38戸への供給支障が発生した。 また、設備工事業者によると、敷地内にガス管が埋設されていることは認識していたものの、カッター長さより深い位置に埋設されていると思ひ込み、ガス業者にガス管位置確認の照会を行うことなくコンクリートを切断した結果、大型カッターにてガス管を損傷したとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
169	10/23	東京	設備工事	都市ガス	0	設備工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、設備工事業者が、建物1階の排水工事に伴うコンクリート研り作業中、コンクリート下に埋設されていた灯外内管を損傷したものの、損傷箇所を修理するために当該建物の引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、当該建物内需要家43戸への供給支障が発生した。 また、設備工事業者によると、作業範囲内にガス管はないと思込み、ガス事業者にガス管位置の確認の照会を行うことなくコンクリートの研り作業をした結果、コンクリートプレーカーにてガス管を損傷したとのこと。
170	10/23	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	造成工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、供給管及び灯外内管の損傷を確認した。 原因は造成工事業者が、基礎コンクリート打設に伴う掘削作業中に、灯外内管を重機で引っ掛け、灯外内管及び供給管を損傷したものの、ガス事業者は造成工事業者より、ガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を実施した。その際には、切断箇所の位置の周知を行った。 なお、造成工事業者によると、ガスの通しているガス管が埋設されていることの把握が適切になされていなかったことから、作業範囲内にガス管があることは認識していたにもかかわらず、当該ガス管が道路上で切断されていると思込み、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
171	10/24	神奈川	水道工事業者	LPガス	0	一般住宅において、隣接する道路の掘削工事を行っていた水道工事業者から埋設配管を損傷させた旨販売業者者に連絡があり、販売業者は火気を使用しないよう指示し出勤した。販売業者が現場を確認したところ、損傷部分には応急措置がされておりガスの漏えいがないことを確認した。 原因は、水道工事業者が当該埋設配管真上に掘削シートが無かったため当該部分の掘削工事を行い配管を損傷させたもの。
172	10/25	滋賀	土木舗装工事業者	LPガス	0	空き地において、土木舗装工事業者より埋設管を損傷させ、ガスが漏えいしている旨の連絡を別の都市ガス業者が受けガス止めの応急措置を実施し、その後都市ガス業者から連絡を受けた販売業者が到着し、ガス漏えいのないことを確認した。 原因は、土木舗装工事業者が空き地を整地中に重機により誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。
173	10/25	大阪	基礎工事	都市ガス	0	建設(新築)工事業者から「新築基礎工事中、建設機械にてガス管を破損した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、誤ってバックホー(掘削機)にて灯外内管(不使用管)を破損したものの。
174	10/28	東京	リフォーム業者	LPガス	0	介護施設において、リフォーム業者より室内パーテーション作業のためビス止めを行っていたところ、誤って床下の配管に穴を開けてしまい、ガスが漏えいしたため、直ちにリフォーム業者により閉鎖された。 原因は、リフォーム業者が配管の位置を確認しないまま作業を行ったことによるもの。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
175	10/28	愛知	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者から「ガス管を損傷し、着火した」との通報を受け、出勤したところ、貸合住宅敷地内の地盤沈下改修工事に伴うコンクリート研り作業中に灯外内管を損傷し、漏出したガスの着火を確認した。 保安確保のため、引込管遮断バルブを閉止したため、89戸の供給支障が発生した。 原因は、他工事業者が、工事範囲にガス管が無いと思込み研り作業を行ったため灯外内管を損傷したものの。
176	10/29	福岡	建物改修・改装工事	LPガス(簡易)	0	消防から「ガス管を引っかけて引火、空家の壁が燃焼している」との通報を受け、出勤したところ、外壁等の一部を焼損した。 二次災害防止のため、特定製造所からのガス供給停止により、300戸の保安閉鎖を実施した。 原因は、リフォーム業者が、販売目的のため当該建物のリフォーム中、露出立管部を活管であるか否かの確認をせずにサンダーにて切断、切断したガス管より漏えいしたガスに切断時の火花で着火したものの。
177	11/1	兵庫	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家屋解体作業中に敷地内のガス管をコンボにて破壊」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の継手部の破損を確認した。 原因は、掘削機(バックホー)にて灯外内管(不使用管)を破壊したものの。
178	11/3	大阪	解体業者	LPガス	0	一般住宅において、周辺住民からガス臭がする旨の連絡を受け、到着した販売業者がガスを閉止した。 原因は、解体業者が掘削作業中に埋設供給管を損傷させたものと推定される。 なお、解体業者は工事前に販売業者と打ち合わせを行わず埋設供給管の位置等を確認せずに作業を行ったとのこと。
179	11/3	大阪	電気工事	都市ガス	0	電気工事業者から「道路掘削中にシューと音がしてガス臭い、消防も出動中」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の管体部の破損を確認した。 原因は、敷地内ポール設置工事中、ボーリングバーにて掘削中、灯外内管を破壊したものと推定される。
180	11/4	鳥取	改修業者	LPガス	0	スーパーマーケットにおいて、改修業者による土間コンクリート撤去作業中に埋設配管を損傷させ、コンクリートカッターの火花が漏えいしたガスに引火した。 原因は、スーパーマーケットの担当者が埋設配管は無いものと思込み、改修業者にコンクリート撤去作業を指示していたことによる。 (バルク貯槽 498kg×1基)

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
181	11/6	兵庫	電柱設置工事	都市ガス	0	電力企業から「電柱工事中、アースオーガーにてガス管を破損、手当てできずガス噴出中」との通報を受け、出勤したところ、支管の破損を確認した。 原因は、電気通信電柱の建替え工事中、ガス管理設置位置を誤認し、アースオーガーにて支管（直管部）を破損したものと。
182	11/7	埼玉	水道工事業者	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者より埋設ガス配管を換置させた旨の連絡があり、到着した販売業者が換置箇所を確認した。 原因は、水道工事業者が水道配水管の入れ替えを行う際に、表層のコンクリートを切替中に誤って埋設配管を換置させたことによるもの。 なお、漏えいはガスメーターにより遮断されていたとのこと。
183	11/8	群馬	防草シート施工業者	LPガス	0	一般住宅において、消費者からガスが出ない旨の連絡を受け、販売業者が現地を確認したところ、配管埋設部に防草シート固定用杭が打ち込まれており、当該箇所からの漏えいを確認した。 原因は、防草シート施工業者が配管埋設部に固定用杭を打ち込んだことによるもの。
184	11/11	埼玉	敷地・造成工事	都市ガス	0	付近住民から「マンション建設予定地付近でガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、マンション建設予定地の敷地内において灯外内管が損傷し、ガス漏洩していることを確認した。 原因は、マンション建設予定地での敷地工事において、敷地境界付近に埋設されていた灯外内管（不燃管）を確認せずに作業を行ったため、気づかず建設機械によりガス管を損傷したものと。
185	11/13	神奈川	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガス管を換置した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管を換置したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、敷地内の基礎解体に伴うコンクリート研り作業中に、コンクリート内に埋設されていた灯外内管を換置したものと。 なお、換置箇所修復のために当該建物の引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、当該建物内需要家34戸への供給支障が発生した。 また、解体工事業者は、元請けの建設工事業者より提供された図面にガス管の記載がないことを確認したことから、当該敷地内の基礎解体に伴うコンクリート研り作業範囲内にはガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を換置したとのこと。
186	11/14	鳥取	その他（転出作業）	都市ガス	0	転出作業中の建物において、都市ガスの閉栓を行わないまま、他工事業者が厨房内のガス機器及び灯内内管の撤去を行い、取り外した接続ネジ部より漏えいしたものと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
187	11/15	福岡	下水道工事業者	LPガス	0	一般住宅において、下水道工事業者より埋設配管を換置した旨の連絡があり、販売業者はガス供給設備のバルブへ閉止するよう指示した。 現場に到着した販売業者は埋設配管の換置を確認し、設備業者による修復工事が完了した。 原因は、下水道工事業者が土砂流入を防ぐ遮断板を打ち込んだ際に、深く入り過ぎたため埋設配管を損傷したものと。 なお、販売業者は事前に下水道工事業者と協議を行っていたが、施工ミスにより事故が発生したとのこと。
188	11/15	大阪	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「工事中、ガス管を破損、臭気等不明」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、建築工事中、バックホウによる掘削作業の際に、灯外内管（不燃管）を破損したものと。
189	11/20	大阪	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	建築工事業者から「側溝工事中、カッター切りにてガス管を破損、臭気、噴出有り」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、側溝改修工事中に舗装カッター切りを行い、灯外内管を破損したものと推定される。
190	11/22	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	消防から「更地で何らかの工事中に敷地内のガス管を破損した様様」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、新築工事に伴う地盤改良工事中、ドリルにて灯外内管（不燃管）を破損したものと。
191	11/22	兵庫	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、ガス管を破損するも手当てできず、土で埋めている」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事中にバックホウにて灯外内管（不燃管）を誤って破損したものと。
192	11/23	大分	建物建築工事	都市ガス	0	他工事業者から「ボーリング作業のドリルがガス管に接触、破損し、ガス臭がしている」との通報を受け、出勤したところ、中圧・灯外内管及び低圧・灯外内管の破損と判明した。 保安確保のため、中圧・引込管遮断バルブを閉止し、52戸を供給停止した。 原因は、当初の計画とは異なる位置においてボーリング作業を行ったため、ガス管を破損したものと。計画変更後の照会は無かった。



No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
193	11/25	兵庫	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、ガス管を破壊。土を被せている」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破壊を確認した。原因は、解体工事前に、バックホウにて灯外内管(不使用管)を誤って破壊したものである。
194	11/29	千葉	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	協力企業から「敷地内にて地盤改良工事を行っている建設工事業者よりガス管損傷の報告」との通報を受け、出動したところ、埋設されていた灯外内管を損傷したことを確認した。原因は、地盤改良のため敷地内を重複で穴をあけていた際、埋設されていた灯外内管30mmを損傷したものである。ガス事業者は、当該敷地内へのガス管敷設状況において、ガスの通じた配管の位置についての周知を行い、また、末端部には表示杭の設置を行った。なお、建設工事業者によると、当該敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることの把握が適切にできていなかったことから、地盤改良工事に伴う当該敷地への穴あけ作業時において、重複によりガス管を損傷したとのこと。
195	12/1	滋賀	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「新築工事中、掘削機でガス管に穴をあけた。土を被せている」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破壊を確認した。原因は、バックホウにて掘削中、誤って灯外内管(不使用管)を破壊したものである。
196	12/3	鹿児島	他販売事業者	LPガス	0	共同住宅において、他のガス会社が配管ルート確認のため試割中に埋設配管を損傷し、ガスが漏れ出したもの。原因は、販売事業者が配管ルートを確認することなく試割を行ったことによるもの。
197	12/3	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物解体現場にてガス管を損傷させた」との通報を受け、出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管を損傷したことを確認した。原因は、建物解体作業中に、灯外内管を重複にて損傷したものである。ガス事業者は、解体工事業者より建物の解体に伴いガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行うと共に、切断位置について周知を行った。なお、解体工事業者によると、敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることは認識していたものの、建物解体に伴う掘削作業中に重複にてガス管を損傷したとのこと。
198	12/6	滋賀	解体業者	LPガス	0	解体予定の一般住宅において、解体業者が植栽の撤去作業中、埋設配管を損傷した。原因は、解体業者が植栽の撤去作業中に埋設配管ねじ部を損傷したことによるもの。なお、販売事業者は消費者から家庭解体の予定を聞いていたが、具体的な作業日までには確認ができていなかったとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
199	12/9	東京	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「掘削中にガス臭気がある」との通報を受け、出動したところ、低圧支管の接続部が破断し、ガスが漏れ出ていることが判明した。原因は、建築現場に埋設されていた支管を重複にて損傷し、支管を引っ掛けた際に、道路上の支管の接続部が破断したものである。
200	12/10	兵庫	水道工事	都市ガス	0	消防から「水道工事業者が工事中にガス管を破壊し破損箇所を指で押さえている」との通報を受け、出動したところ、供給管の破壊を確認した。原因は、住宅のリフォームに伴う水道引き込み管工事に際し、コンクリート切り作業時に電動ブレードにて供給管の管体部を誤って破壊したものである。
201	12/11	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家庭解体中、バックホウ(掘削機)にてガス管破壊」との通報を受け、出動したところ、灯外内管のねじ継手部の破壊を確認した。原因は、家庭解体中、灯外内管をバックホウ(掘削機)にて破壊したものである。
202	12/11	東京	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	建設工事業者から「地盤調査ボーリングの作業時にガスが噴出した」との通報を受け、出動したところ、埋設されていた灯外内管を損傷したことを確認した。原因は、ボーリング作業を重複にて行っていた際、灯外内管を損傷したものである。なお、損傷箇所修復のために引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、当該敷地内の建物内62戸への供給支障が発生した。また、建設工事業者によると、当該建物の施設管理者よりガス及び電気等の配管ルートが記載された敷地内図面を提供され確認していたものの、当該敷地内のボーリング作業範囲内と図面に記載されたガス管ルート位置を見誤ったことで、重複によりガス管を損傷したとのこと。
203	12/14	熊本	設備業者	LPガス	0	老人福祉センターにおいて、排水工事を行っていた設備業者よりガス管を切断した旨の連絡があり、到着した販売事業者は配管の損傷及びガスメーターによるガスの遮断を確認した。原因は、設備業者が誤って配管を切断したことによる。なお、設備業者から販売事業者に対して立会いの依頼の連絡はなかった。
204	12/16	神奈川県	リフォーム業者	LPガス	0	一般住宅において、外壁のリフォーム業者から給湯器付近の配管を損傷した旨の連絡があり、販売事業者はガス栓の閉止を指示し現場に出動した。到着した販売事業者は損傷箇所を修繕し、気密試験、漏れ検査を実施した。原因は、リフォーム業者が外壁を解体している際に隠れ部の配管用フレキシ管に気づかず損傷させたことによるもの。なお、販売事業者は事前に連絡を受けていなかったとのこと。

No.	発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
205	12/16	広島	下水道 工業業者	LPガス	0	小学校において、下水道工事業者から埋設配管を損傷した旨の連絡があり、販売事業者が現地を確認したところ埋設配管とガスの漏えいを確認した。 原因は、下水道工事業者が掘削作業中に使用中の埋設配管を損傷したことによるもの。 なお、下水道工事業者は工事前に販売事業者と打ち合わせを行っていたが、下水道工事業者が使用されていない配管を供給されている配管と思い込み作業を行っていたところ、別の供給されている埋設配管を損傷させたとのこと。
206	12/16	埼玉	その他 (雨水管 撤去工 事)	都市ガス	2	区画整理工事業者から「雨水管撤去工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤した。また現場到着前に着火したとの連絡を受けた。現場到着後、掘削機にて低圧支管が損傷された後、ガス漏えい箇所付近で電動ドリルを使用したため着火し、作業員2名の負傷を確認した。 原因は、区画整理工事業者は事前協議でガス管近傍は手掘りによる先掘りを行うように指示を受けたが、実際には先掘りを行わず掘削機で行ったため低圧支管を損傷したものの。